

# ありmama便り

2015年  
3月発行  
Vol. 4



去年の6月に初めて開催した チャレンジド・プレーゴ。  
あの時の映画会に、ひとりの中学生の女の子が参加してくれました。  
彼女は、藤枝市役所・児童課の方の娘さんで、お母さんと参加してくれました。  
後日、この時の様子を書いてくれた体験文がとても素敵で、できるだけたくさんの人に読んで欲しくて、ここで皆さんにご紹介させていただきたいと思います。

## ありのままの姿

白鷺美侖

「アナと雪の女王を観に行こう。」

6月の始め、私は母に映画に誘われました。私はまだ観ていなかったので、

「行きたい。」

と即答しました。そして、その後に母が、

「いつも観に行く映画館の雰囲気とは、ちょっと違うよ。」

と言って、「アナ雪で映画館デビューしよう！」というチラシを見せてくれました。それは、特別支援学校に通う子が、藤枝シネ・プレーゴ1部屋を貸し切って、親子で映画体験会をしようという企画の上映会でした。空席分のチケットが2枚あるみたいだからと、私を誘ってくれたのでした。大きな音や、暗い所、狭い所が苦手な子、じっと座っているのが苦手な子、はじめて映画館を体験する子たちのための上映会だということを説明してもらいました。障害をもっているということなんだなと思って聞いていましたが、母は「障害」という言葉を使わずに話をしてくれました。正直私は、障害のある人と一緒に過ごすことが今までなかったので、なんとなく不安がありました。でも、映画は観たいし、母も一緒だからいいかなあと思って行くことにしました。

上映会当日、母の仕事が長引き、上映開始時間にかかなり遅れて到着しました。私たちが、急いでB i V iに入ろうとすると、小学生の男の子がドアのところで出たり入ったりしていました。その男の子のお父さんとお母さんが、男の子に何か声をかけていました。私が、早く入らないと思って急いで横を通り過ぎようとする、母が、

「あの子も映画を観に来た子かな？」

と言ったので、気になって振り返って見ましたが、外に出て行ってしまったようでした。

映画はもうだいぶ進んでいて、私と母は観ている人の邪魔にならないように、すぐ席を見つけ

て座りました。私の席の周りには、車椅子にのっている子、呼吸がゼーゼーしている子、何か喋っている子がいました。途中で、出たり入ったりしている子もいましたが、みんな映画をよく観ていて、一緒に楽しく観ることができました。映画を観に来る前に、母からいろいろ話を聞いていたけれど、みんな「普通」だと思いました。映画が終わってから、母が、

「どうだった？」

と聞いてきたので、それは映画の感想ではなくて、映画館の雰囲気のことを聞いてきたんだなと思ひ、私は、

「あそこにいたみんなと友達になれると思う。」

と答えました。どう伝えたらいいかわからないような感じでしたが、それが1番に思ったことでした。

「ありの～ままの～姿みせるのよ～ありの～ままの～自分になるの～」の歌と周りにいるみんなのことが重なって、私はなんだかあたたかい気持ちになりました。「障害ってなんだろう？」と考えました。学校の友達にも1人1人個性があって、苦手なこと、得意なことがあるのと同じように、映画館にいたみんなにも1人1人個性があって、私と何もかわらないと思いました。

その後も、私は、映画館に入れなかった小学生の男の子のことが気になっていました。あとから、男の子のお父さんとお母さんが、映画は観られなかったけど、B i V iの中に入れて、ゲームをやれたことだけでも進歩、よかったと言っていたということを知り、私もよかったなあと思いました。

私はこの体験を通してわかったことが3つあります。1つ目は、普段私が普通にしていたことが、できなかつたり、躊躇していて踏み出せない人たちがいるということです。2つ目は、障害をもつ人たちのことです。障害という言葉の印象が強くて、自分と全然違うような、何か特別な感じに思っていたことは、そうではないということがわかりました。私が勝手に境界線を作って、勝手な印象でイメージしてただけということを感じました。同じ中学生の子を見たとき、私は何もかわらないと、ただそう思いました。みんながもっている障害といわれる部分のことは、全然わからないけれど、1人の人として見た時、私と何もかわらないありのままの存在だということです。そんなみんなと一緒に笑ったり、同じ時間を共有できることが沢山あればいいのになあと思いました。そして、その人全体のことを理解して、いろんな事を同じ所で一緒に考えられるような社会になるといいなあと思いました。3つ目は、いつかの成功のために、小さな事を積み重ねていく今が大事なのだということです。小さなステップを踏んでいって、いつか苦手を克服したり、自信にしていけることが大切なんだと、あの男の子から学びました。

私は、将来やりたい事が見つかりました。私の中で感じた思いを確かなものにするために、自分ができる事を見つけていきたいです。

～ ありの mama 隊からのお知らせです ～

次回の チャレンジド・プレーゴは「アンパンマン」を予定しています。  
日にちは、夏休みを考えています。  
情報はブログやFacebook で発信していきますので、そちらもご覧ください。

「ありの mama 隊」で  
検索してね～

